

地球温暖化を見てみよう

富山県環境科学センター
富山県気候変動適応センター

デジタル四次元地球儀^{ちきゅうぎ}で地球が暑くなっていくようすを見てみよう。直径 1.3 メートルの地球儀は約 1,000 万分の 1 の大きさの地球だよ。

● なにがわかるの？

○地球の気温

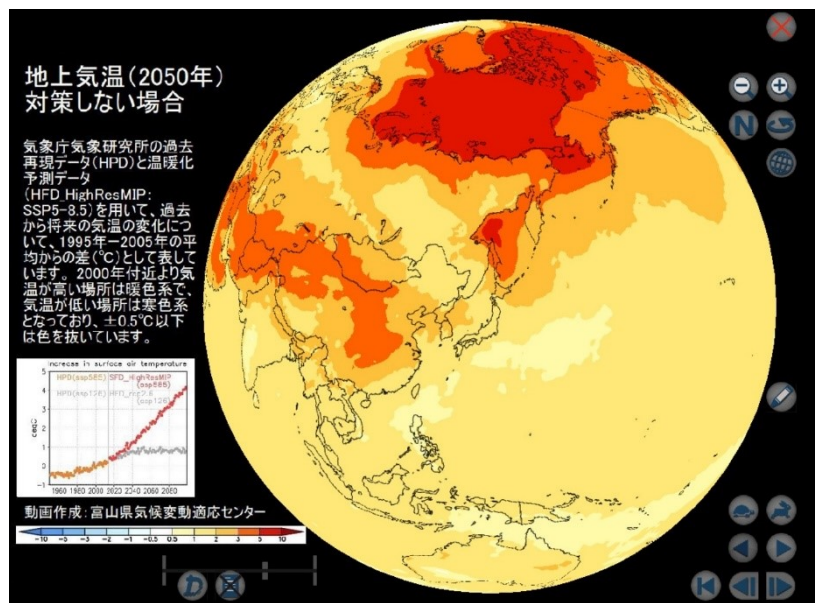
地球の地表付近の気温 (2000 年頃との差) を見てみよう。1950 年から 2099 年までだんだん変わっていくよ。自分が生まれたころや、おじいちゃん・おばあちゃん、お父さん・お母さんが子どもだったころと比べて、地球は暑くなっているかな、寒くなっているかな? 将来はどうなるかな?

○雲の動き

日本にくる台風の動きを見てみよう。台風はどこで生まれるかな? 台風の目はわかるかな? 台風のうずまきはどちら向きかな?

○地球の街あかり

宇宙から見た街あかりを見てみよう。日本はどこにあるかわかるかな? 明るいところはどこかな?



【参考】

この四次元地球儀は「ダジック・アース」といい、気温や雲の動きなどを立体的に表示することで地球や惑星についての科学を楽しんでもらうために、京都大学を中心に開発が進められています。

Web 版も用意されており、ご家庭でもパソコンなどから自由に見ることができます。また、教育目的であれば無料で利用できるソフトが提供されており、白いボールとプロジェクターがあれば、学校での環境教育などにもご活用いただけます。

環境科学センターの「環境楽習室エコ・ラボとやま」（平日 9:00～16:30、無料）では、ダジック・アースを常時ご覧いただけるほか、環境に関する様々な展示がありますので、ぜひお越しください。

☆☆☆オリジナル温度計をつくろう☆☆☆

● どんな工作・実験なの？

昔より暑い日がふえてきたので、熱中症に気をつけよう。むし暑い日には部屋の中にも熱中症になることがあるよ。自分だけのマグネット温度計を作って、部屋の温度をこまめにチェックしてみよう。

● 用意するもの

温度計のシール(デジタルサーモテープ)

マグネットシート

油性マジック、好きなシールなど

● 工作・実験のしかたとコツ

- ① マグネットシートを好きな形に切る。
- ② マグネットシートに温度計のシールをはりつける。
- ③ マジックで絵や文字を書いたり、好きなシールをはったりしてデコレーションする。

● 気をつけよう

シールをはる場所に汚れや油、水などがあるとはがれやすくなるよ。きれいにしてからシールをはろう。



☆☆☆紫外線^{しがいせん}ビーズでストラップをつくろう☆☆☆

● どんな工作・実験なの？

日差しが強いと、紫外線という見えない光がたくさん飛んできてくるよ。紫外線は、日焼けを起こしたり、光化学オキシダントという空気中の有害なガスをふやしたりするよ。紫外線で色が変わるビーズで、見えない紫外線をとらえよう。

● 用意するもの

ビーズ(UVチェックビーズ、紫外線感知ビーズ)

ひも(カラーつづりひも)

● 工作・実験のしかたとコツ

- ① ひもを半分におって、持ち手の部分をむすぶ。
- ② ビーズを5個えらんで、ひもにとおす。
- ③ ビーズがこぼれないようにひもをむすぶ。

● もっとくわしく知るために

紫外線は皮ふがんの原因になることもあるので、日焼け止めや帽子を上手に使いましょう。また、紫外線が強い春から初夏には光化学オキシダントの濃度が上がりやすく、注意報が出されることがあります。

